ウ　企業の取り組み　～ 株式会社ブルボン ～

○被災者支援のための備え

・新潟県と災害時の支援協定を締結

新潟県と「災害時における物資の提供等に関する基本協定」を平成２２年７月に締結し、大規模災害に備えるとともに迅速な対応が可能な被災者支援体制を整えています。

新潟県からの救助物資提供の要請により、「飲料水」「食料品」で当社が調達可能な種類および数量を新潟県が指定する避難所まで運搬し引き渡します。

・共助の体制作り

平成１９年の新潟県中越沖地震では、当社も被災の状況でありましたが、自社の復旧と地元被災者の支援が行える体制としました。継続してきた飲料水やお菓子等の救援物資提供や義援金による復興への協力に加え、東日本大震災では、温かな食事を通して被災者の元気を取り戻すお手伝いとして、避難所での炊き出し支援を行いました。種々体験より、被災地支援は自己完結型で行うことが必要であることを基本に、宿泊が出来るキャンピングカーやキャンプ用機材の導入、汎用型で大型の炊き出し器具類などを準備しています。

また、他団体との連携、協力を含めた体制作りを進めていきたいと考えています。

○被災者支援活動

当社は、関東大震災の影響から地方への菓子供給が全面ストップした窮状を機に、創業者である吉田吉造が「地方にも菓子の量産工場を」と決意し、大正１３年に柏崎駅前で事業を興しました。以来、「利害相反する人を含め集団の生存性を高める」という企業理念のもと、国内外の大災害時に被災地へ救援物資や義援金をお贈りし、復旧・復興に協力してまいりました。

○備蓄商品の紹介

当社は、長期保存できるビスケット類のほか、水、栄養調整食品等も揃えています。

プチクマビスケット保存缶
賞味期限：５年

※ バラエティ感のある６種類のビスケット類を詰め合せた長期保存商品です。

天然名水出羽三山の水
２ℓ・５００mℓ
賞味期限：２４ヶ月

スローバー
上：チョコレートクッキー
下:ボイセンベリークッキー
賞味期限：８ヶ月

※エネルギーと必要な栄養素も補給できる栄養調整食品です。

第４章　東日本大震災時の食支援の記録

（１）行政の取組

１　１次避難所の食生活状況

避難生活の長期化に伴い、避難所での栄養・食生活の問題が出てきている。

（主な課題）①避難所弁当で不足する野菜への対応（便秘の訴え多い）、栄養バランスの確保
②乳児、高齢者の食事の対応（離乳食、かゆ食への対応）
③糖尿病、高血圧等の慢性疾患による食事制限者への対応
④子どもの肥満、虫歯への対応（おやつのルール）
⑤エコノミークラス症候群予防（水分補給と運動）

２　避難所弁当の食事調査

避難所に提供されている弁当３日分（H23.4/15,18,19）を調査。
厚労省「避難所における栄養の参照量」と比べると、ビタミンB_1、B_2、Cが不足傾向。
牛乳や果物１個プラスするだけでも、バランスはよくなる。
炊き出しは不足しがちな野菜補給に役立っていた。

項　目	エネルギー	蛋白質	ＶＢ$_1$	ＶＢ$_2$	ＶＣ	食物繊維	塩分
避難所弁当平均	1,587kcal	45.6g	0.43mg	0.40mg	17mg	5.1g	10.1g
（牛乳＋果物）	203	7.6	0.12	0.33	15	0.9	0.2
（実だくさん汁）	131	8.4	0.26	0.09	22	2.7	1.9
合計	1,921	61.6	0.81	0.82	54	8.7g	12.2g
厚労省栄養参照量	2,000kcal	55g	1.1mg	1.2mg	100mg	—	—

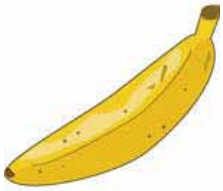
（避難所の１日の食事のイメージ）

あさ

ひる

よる

プラス



3　栄養士会との連携

○炊き出し及び食生活相談

〔目的〕不足しがちな野菜補給を行うとともに、必要な食生活相談を行う。

〔主催〕柏崎市健康福祉部（食生活相談）栄養士会柏崎支部（炊き出し、食生活相談）
※柏崎保健所は支援

〔日時〕4 月 19 日　午後 5 時～6 時 30 分

〔会場〕市中央コミセン（120～130 食）　田尻コミセン（80 食）

〔内容〕①みそ汁、簡単ピクルス（コミセンからの要望のあったもの）
②**「避難所での食事の工夫」のちらし**配布　……　P48

炊き出し提供

簡単ピクルス、あおさのみそ汁

食生活相談

4　２次避難所の状況

〔目的〕2 次避難所（市内 20 施設）に対して、食生活に関する情報提供と食事内容に関する調査を行い、今後の被災者の健康保持に役立てる。

〔内容〕○食生活に関する情報提供
○**「食事づくりのポイント」ちらし**の配布　……　P49
○春メニューの献立提供（「災害時の炊き出し献立集」より抜粋）

２次避難所の食事状況について

【献立内容】

○朝　：　主食（ごはん中心）、主菜１品（魚か卵）、副菜１～２品
○昼　：　めん類、丼類
○夕　：　主食（ごはん中心）、主菜１～２品（魚か肉）、副菜２品

【大まかな栄養量】

○エネルギー2000kcal、蛋白質 60～70g（成人の必要量は充足）
○野菜 200～350g（施設差あり）
○塩分やや多い傾向（朝夕にみそ汁、漬物あり、昼食にめん類が多いため）

食事の聞き取り調査

【その他】

○家庭的で、地元食材（魚、海藻、野菜）を取り入れた献立を工夫している施設が多い。
○ごはんはおかわり自由の施設が多い。
○牛乳や果物を提供している施設は少ない。

（２）事業者・団体の取組（東日本大震災時の食支援の記録）

項目	栄養士会　柏崎支部 〔炊き出し〕	柏崎・刈羽農村地域生活アドバイザー連絡会 〔炊き出し〕
１きっかけ	避難者の健康管理に栄養士会として役立ちたい。多くの避難者が来柏しており、弁当で不足しがちな野菜を提供した。	柏崎市の担い手対策協議会より、アドバイザー連絡会の事務局に声がけがあり、JA 女性部役員と共に実施した。
２内容	■時期：4月19日 ■場所・対象者：田尻コミセン　中央コミセン ■従事者（人数）：８名 ■経費負担：栄養士会　柏崎支部 ■調理場所：健康管理センター ■配送方法：自家用車に保温食缶使用 ■内容：　炊き出し 〇食事内容　　約200食 ・「あおさの味噌汁」（あおさ、豆腐等） ・「簡単ピクルス」（キャベツ、かぶ、人参、セロリ、胡瓜） 野菜３０kg用意、1人前１３０gの野菜が摂取 〇献立作成や食事提供時の配慮 ・野菜（季節の生野菜）が多く取れるもの ・あおさのように柏崎の 春の香りを味わって もらいたい。 	■時期：３月２９日　　４月５日 ■場所・対象者：福島県民からの避難者 3/29中央コミセン、総合体育館 4/ 5田尻コミセン、北鯖石コミセン ■従事者（人数）：3/29　3名、4/5　3名（計6名） ■経費負担：各　農業団体 ■調理場所：JA　愛菜館　2F調理室 ■配送方法：市　JAの車 ■内容：　炊き出し　給仕 〇食事内容（献立内容、回数、食数） ・きのこ汁２回 3/29　370食（2カ所）　4/5（2カ所） 〇献立作成や食事提供時の配慮 ・温かいものは、温かいうちに届けること ・エコドンブリを使用する。 ・出たゴミは、回収して持ち帰る。
３感想等	〇良かった点 ・よろこんで食べて頂けた。 ・栄養情報や今後困った時の連絡先を配布できた。 〇困ったこと、反省点 ・避難所の管理は市の業務であり、どこを通じて要望すればよいかわからなかった。	〇良かった点 ・トロ味もきいて、冷めにくく、美味しいと喜ばれた。 〇困ったこと、反省点 ・お昼時の提供だったので、避難所から多くの方々が外出されていたので、人数の把握がむずかしかった。（特に4／5は晴天だったので）
４今後検討が必要なこと	〇自らできること 大きなボールなどなく、困ったので、野菜を洗って一部切ってから、持ちこめばよかった。 〇地域への要望など 価格（経費）も限られているが、栄養価や内容、コストを考えたモデル弁当があった方がよいのではないか。	〇自らできること 今回同様、炊き出しなどのボランティア活動 〇地域への要望など

項目	柏崎市中央地区コミュニティセンター〔炊き出し〕	柏崎市食生活改善推進員協議会　一中地区〔炊き出し〕
1きっかけ	避難所が開設されたこと	一中地区内　中央コミセンに避難者、被災者が大勢いらっしゃるので、食推として、何かできることしようと話しかけたところ、直ぐに行動しようということで取り組む。
2内容	■時期：3／15～4／23 ■場所・対象者：当コミセン 最大時　316名 ■従事者（人数）：20名程度 ■経費負担：当コミセン協議会（義援金等含む） ■調理場所：調理室 ■配送方法： ■内容：　炊き出し、救援物資 〇食事内容 ・山菜の天プラ、焼きそば、赤飯、生野菜、米粉うどん 〇献立作成や食事提供時の配慮 ・加熱したものを提供 	■時期：23年3月30日　（昼食時） ■場所・対象者：中央コミセン・避難者 ■従事者（人数）：一中地区食推会員　8名 ■経費負担：食推活動費（市・地区）13,000円 材料一部持ち寄り ■調理場所：桜木町　公会堂 （町内災害用等のため調理室が整備されていた） ■配送方法：　車で ■内容：　炊き出し 〇食事内容 ・野菜たっぷり豚汁 1回 200食（じゃがいも、ごぼう、人参、玉葱、豚肉、しめじ、長ネギ） 〇献立作成や食事提供時の配慮 ・免疫力低下の恐れもあり、衛生面は特に配慮（マスク、手洗い、三角巾、身支度、調理器具、布巾、カップ、はし等） ・いつもお弁当とのことで野菜たっぷり暖かい汁ものを用意（刻み長ネギを沢山用意した。色彩も又香りも良くよろこばれました）
3感想等	〇良かった点 避難されている方々に喜んでいただいた。 〇困ったこと、反省点 炊き出しや救援物資の配布などの調整	〇良かった点 ・会員の賛同、対応が早く、直ぐに行動・実行できた等 ・調理する場所が地区内あったこと（中央コミセンの調理室が封鎖） ・避難者の方に喜んでもらえた。（野菜いっぱい、暖かい汁物等） ・災害に備えて各町内で取り組みが進んでいた（運搬用食缶、調理器具、場所の整備、町内の協力）。 〇困ったこと、反省点 ・ボランティアの受け入れ準備が、進んでいない段階で、入りにくかった（その後、町内会等の支援が計画化された） ・中央コミセンは避難者が、250名以上と多く、1回の汁物だけでも経費がかかる。 継続して何回もできなかった。
4今後検討が必要なこと	〇自らできること 必要に応じて、調理室の貸し出しも可能。 〇地域への要望など	〇自らできること できることを周りの人に伝え、関係のところに申し出て対応、行動する。 〇地域への要望など ・ボランティアの受け入れ情報を早く伝えて欲しい。 ・今後のために、あらかじめ出来ることをリストアップしておく　等 ・身近なボランティア団体に声をかけ協力し合う。

項目	柏崎市食生活改善推進員協議会　田尻地区 〔炊き出し〕	刈羽村食生活改善推進委員協議会 〔炊き出し〕
1きっかけ	田尻地区に被災者がおられ、老人会、地域の方々が豚汁etc提供始め、食推として、何か出来れば、と思い取り組んだ。 	委員さんからの声があがったため
2内容	■時期：平成23年4月8日 ■場所・対象者：田尻コミセン、福島（避難者被災者） ■従事者（人数）：　10人 ■経費負担：市、地区＞食推　13,572円 ■調理場所：田尻コミセン ■配送方法：無し ■内容：　炊き出し 〇食事内容 ・カレーライス、福神漬け、パリパリきゅうり ・生野菜サラダ、ドレッシング（レタス　きゅうり　トマト　コーン） 〇献立作成や食事提供時の配慮 ・いつも　冷たい弁当なので暖かいご飯（炊きたて）と考え、子ども達も大人も喜んでもらえるよう、カレーライスにした。 ・生野菜が不足していると聞き、サラダもつけた。 	■時期：３月１７日（木）　３月１９日（土） ３月２３日（水） ■場所・対象者：刈羽　高町　勝山　赤目地区集会場　福祉センター　福島県民の方 ■従事者（人数）：２０～２３名 ■経費負担：委員さんから集めた義援金16,156円 ■調理場所：ラピカ ■配送方法：委員さんの車 ■内容：　炊き出し 〇食事内容 ・豚汁２回 3/17（80食）　3/19（160食） ・けんちん汁（すいとん入り）1回　3/23（170食） 〇献立作成や食事提供時に配慮したこと ・野菜を沢山取っていただこうと思った。 ・あたたかい物をあたたかいうちに食べていただきたいと思った。
3感想等	〇良かった点 喜んでもらえ、おかわりしてもらって良かった。 〇困ったこと、反省点 1回しか炊き出し出来ず、悪かったと思う。	〇良かった点 ・被災者の方からの感謝の言葉をいただき、美味しそうに食べていただいた事 〇困ったこと、反省点 ・1回目は代表の方不在だった為、対応の仕方がわからなかった。 ・2回目、3回目は他の団体も炊き出ししていたため、提供する日が決めずらかった。
4今後検討が必要なこと	〇自らできること 被災者へ炊き出し・・もうこんな必要があるのは、困りますが、やはり自ら動かないと・・・。 〇地域への要望など 早目の情報をいただき、お手伝い出来れば頑張ります。	〇自らできること ・協力できるところは協力していきたい。 〇地域への要望など ・炊き出しで何を作ったらいいかなどを考えるために情報をいただきたい。